

## 個別トレーニングの一般的な進め方

### 1 カリキュラムを設定

勉強したい科目や単元、問題の種類など、目標に合わせて個人ごとに学習計画を設定します。



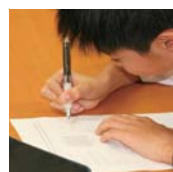
### 2 プリントを印刷

計画にしたがって最初のプリントを選択。要点のまとめの解説プリントや様々な問題プリントが一人ひとりに印刷されます。



### 3 トレーニング開始

解説プリントを参考にしながら、問題を解いていきます。1枚の時間は10分位だから、集中してどんどん進みます。



### 4 提出して判定へ

解いたプリントを先生に提出。先生が得点を入力すると、いよいよ判定画面です。



### 5 「You Win!」合格、さあ次の問題へ

判定画面で「You Win!」が出れば、合格ラインクリアで次のプリントへ。「You Lose!」で不合格のときには、やり直しプリントで再チャレンジ。



## 演習トレーニングの意義と重要性

演習トレーニングにはどのような意義があり、学力向上にどれほどの効果があるのでしょうか。授業を聞くだけでは学力は身につかないのでしょうか。

実は「授業」と「演習」の関係は、スポーツにおける「コーチの指導」と「本人の練習」とまったく同じです。スポーツで技術の向上を望むのなら、コーチに正しい技術を教えてもらい、そのあとで何倍もの時間をかけて本人が練習しなければならないことは、言うまでもありません。野球のバッティングが上手になりたいと思うのなら、コーチに正しいフォームを教えてもらったあと、それを体に覚えこませるために何百回もバットを振ることが必要です。

練習が重要ということはスポーツにおいては広く浸透した考え方です。ところが勉強となると、授業で先生に教わっただけで学力が身につくと勘違いし、問題演習をおろそかにしている生徒があまりにも多いのです。学力向上を望むのなら、授業のあとでたくさん問題を繰り返し解くことが必須条件なのです。

学力向上に欠かせない問題演習。それこそが個別トレーニングです。授業を聞いたあとは、個別トレーニングで徹底的に問題演習を繰り返しましょう。それが学力アップへの最も確実で、最も近い道のりなのです。

■『個別トレーニング』に関するお問い合わせは

「わかったつもり」を  
「できる!」に変える

個別  
トレーニング

解説を読んだら、さあスタート  
1枚10分 さくさく進む  
ドキドキわくわくの楽しい判定

# 解いた枚数だけ必ず伸びる。 伸ばしたい科目や内容を自由に選んで 集中トレーニング。



小学生

## 飽きずに楽しく学カアップ！

1枚10分程度で解けるプリントで勉強への集中力が続きます。またプリントごとに楽しい判定があり、テンポよく勉強を進めることができます。

中学生

## 定期テスト対策に、高校入試に効果抜群！

英語、数学、理科、社会、国語と5科目すべてそろって、定期テスト対策に最適です。また公立から難関国私立までの高校入試対策問題もあり、合格に向けた確かな実力を身につけることができます。



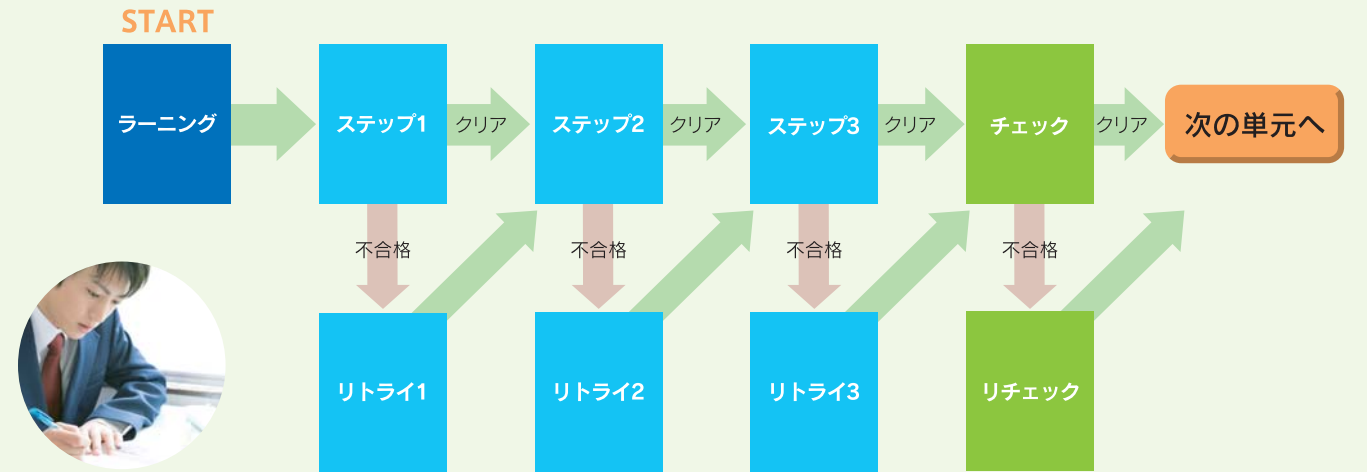
高校生

## もちろんセンター対策、私大・2次対策も！

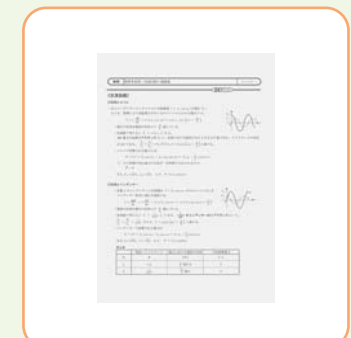
主要科目のプリントが基礎から応用までそろっています。そのほか、センター試験対策、2次・私大対策問題もあり、自分の目的に合わせて科目や単元を自由に選んで計画的に取り組むことができます。

## さくさく進む個別トレーニングのしくみ

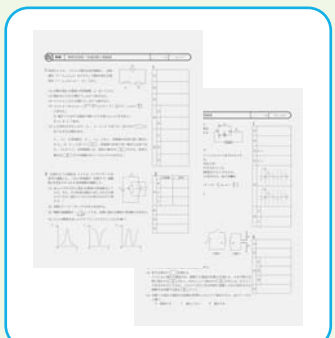
分かりやすい解説プリントを読んで学習をスタート。1枚10分程度のプリントだからテンポよくさくさく進みます。解き終わったらドキドキの合格判定。結果に応じてパソコンが最適なプリントを自動で選択してくれます。



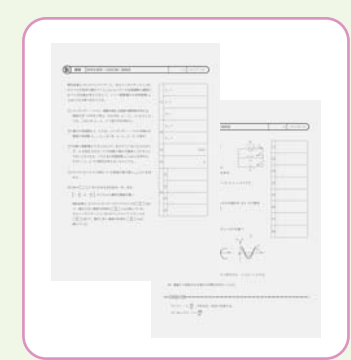
## プリントの種類



**ラーニング**  
要点のまとめを分かりやすく解説したプリントです。例題も豊富で、参考書の代わりに使えます。



**チェック  
リチェック**  
単元のまとめテストです。このプリントに合格したら、新しい単元へと進みます。



**ステップ  
リトライ**  
単元を小さなステップに分けた練習プリント。やり直し用のリトライ問題も用意されています。



**チャレンジ  
チャレンジR**  
単元の応用問題です。よりハイレベルな問題にチャレンジすることができます。

## 生徒の声

こんなに多くプリントをやったのは初めてだから、学校のみんなに自慢できる！  
(小6・Sさん)

自分にあったレベルでできたので良かったです。範囲ごとにまとめがあって分かりやすいです。  
(高2・Kさん)

ラーニングの説明が分かりやすく、問題もよく分かった。  
(中3・Yさん)

